

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年5月14日(金) 書面開催
- 3 参加者
会長 岩田 勝美 (株)岩田鉄工所 代表取締役
副会長 青木 秀益 育友会会長
委員 大野 千春 地域住民代表
岡島 佑亮 (株)光製作所 総務部 係長
加藤 大武 (株)加藤組 代表取締役
木下 詩乃 育友会副会長
駒瀬 典子 羽島市更生保護サポートセンター センター長
佐溝 勝樹 地域住民代表
杉山 明 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
種村 久子 地域住民代表

4 会議の概要(書面郵送のうえ意見聴取)

(1) 学校経営計画について

意見1: 前年度実績についても資料をつけてほしい。

意見2: コロナ禍で事業計画に賛否両論あるが、生徒がこの1年を通し、心も体も団体活動から得られる「学び」「成長」できることを一つでも多く実現し、コロナでできない場合は、代用を考え工夫をしてほしい。

意見3: 夢や希望に挑戦し地域社会に貢献できる、質の高い教育の実現に期待している。

意見4: 今年度も実施できない事があり、苦労もあると思うが、計画に基づいて指導してほしい。

意見5: 目標、取組案、指標が明確になって良い。ただし、コロナ禍において変更になる場合は迅速に対応し、生徒への指導が十分に行えるよう検討してほしい。

(2) 教務部について

意見1: 地域とのつながり、幅広い年齢層と接し身につく事が少なかった昨年だったので、今年は、リモート等を通して機会を増やしてほしい。

意見2: 満足度日本一を目指すためにも職員が一丸となり、教育活動を推進させてほしい。

意見3: 今年度入学者が3学科群で定員割れしてしまったので、特色を出し中学校へPRしてほしい。

意見4: 学校目標と成果がマッチしており、生徒たちが活動方針を理解しているように思う。生徒の満足度も高いので、今後も維持してほしい。

(3) 生徒指導について

意見1: 個々の生命や人権を大切にする望ましい人間関係を続けるよう具体的な指導をしてほしい。

意見2: コロナで規制されることにより家庭での時間が増えるため、家庭への感謝の気持ちが薄れないように指導してほしい。

意見3: 大変よく指導している。

意見4: 生徒とともに協議し、時代に即した校則の見直しを望んでいる。

意見5: 校則について具体的に書いてあり、大変わかりやすく適切である。

意見6：スマートフォンやSNSの利用方法については、定期的に指導する必要がある。

意見7：年間を通して、安全・モラル・倫理指導を計画されていて良い。コロナ差別についても取り入れるのもいいと思う。

(4) 進路指導について

意見1：生徒一人一人の進路実現に向けた積極的な指導を期待している。

意見2：進路説明会がなくなり、どのように進めるのか個人指導を充実させてほしい。

意見3：在校中にある程度、生徒の適性を見ることができると指導してほしい。

意見4：説明会や見学会等の機会をできる限り多く得られ、多くの情報が収集でき、より良い進路選択ができる様に指導してほしい。

(5) 工業教育について

意見1：笠松駅のイルミネーション等、継続して地域との交流に協力してほしい。

意見2：ものづくりは、素朴な疑問を持つことから始まるなど、工業高校生ならではの思考回路を教育してほしい。

意見3：地域協働等の行事がコロナ禍で中止になることが多い中、できることを見つけて参加させて取り組ましてほしい。日本一のスペシャリスト教育に期待する。

意見4：教育設備が整うのはとても良いことです。最大限に活用してほしい。

意見5：各科の取組やコンテスト等の積極的な参加は今後もぜひ続けてほしい。色々な経験を積み上げてほしい。

(6) 定時制について

意見1：勤労と学習の両立、学校へ行く楽しさ、魅力ある学校生活が送れるよう励まし、資格取得等学習に意欲的に取り組み、できる限り卒業させる努力に期待したい。

意見2：一人一人に向けた評価基準の設定は、生徒たちのやる気を伸ばすことができる良い取り組みである。

(7) その他

意見1：通学中のマナーが良く好感が持てます。笠松駅のロータリーや地下道での自転車マナーの向上と事故が発生しないことを期待する。

意見2：コロナ禍で大変だと思うが、生徒たちが少しでも充実した学校生活ができるよう指導してほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会（書面会議）では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

本校教育活動に関してご理解をいただき、一層の活動の充実を期待されたが、一方で、新型コロナウイルスの関係で、感動や経験不足の克服や実習設備の一層の充実と、新しい設備や施設そして企業やOBの力を如何に有効に活用するかという点が今後の課題となる。

生徒自身が培ってきた能力を周りにしっかりとアピールできるよう、表現力や発信力を身につけ、将来地域や職場のリーダーとして活躍できるように学校として応援していきたい。また、中学生や地域の方が、本校に興味や関心を持ってもらえるよう、様々な教育活動の情報発信を工夫していきたい。